

第2次観光戦略計画（案）に対する意見募集結果

1 意見公募期間

平成30年11月19日から平成30年12月18日

2 意見公募期間

提出者数 4人

提出意見数 12件

(内訳)

メール 2件

持参 2件

3 提出された意見の要旨と市の考え方

【意見反映状況】

A：意見を反映し、案を修正した

B：すでに案で対応済み

C：案の修正はしないが、実施段階で参考としていく

D：意見を修正できなかった

E：その他

全体事項

NO	意見の要旨	該当頁	反映状況	市の考え方
1	計画にある数値目標だけではなく、今の世の中を動かしている「きれい」、「かわいい」、「おいしい」といった言葉（感情）に注目してみてもどうか。	—	C	「きれい」「かわいい」「おいしい」などの感情を表す言葉を指標として用いることは難しいですが、上記のような感情について注目したイベントの企画を行っていくことは可能と考えます。実施段階での参考とさせていただきます。
2	市内の主要な通りに「桜通り」というように花の名を冠した愛称をつけ、その花にふさわしい地域、景観をデザインしてはどうか。	—	C	道路の愛称については、地域の特色や歴史的な由来などを反映しながら、市民に親しみやすい名称を用いられることが多いものと認識しております。本市にも、鴻巣地域のフラワー通りやけやき通り、吹上地域のコスモス通りや花みずき通り、川里地域の茜通りなど、広く市民に親しまれている道路が多くあります。道路の愛称は、地域の特色が表現されていることから、郷土への愛着、ふるさと意識の醸成が図られていくものと考えております。市としましても、地域の歴史的、文化的な魅力を最大限に引き出すような工夫が必要だと認識しております。にぎわいのあるまちづくりのための参考意見とさせていただきます。

基本戦略1 観光資源の充実と発信

NO	意見の要旨	該当頁	反映状況	市の考え方
3	年間を通して多くの人を通る、鴻巣駅から運転免許センターまでの道（以下、「駅前通り」）の活用について ・年間を通して駅前通りの通行者から花が見える景観を作してほしい。 ・官公庁や学校、企業、地域住民等が主体的に参画できる委員会を設置し、駅前通り全体を「花のまち」として、ハードとソフトの両面からデザインしてほしい。	16	D	花の見える景観については、鴻巣駅前に花時計を設置し、そ周囲の花壇とともにボランティアの方に維持管理を行っていただいております。また、鴻巣駅から免許センターまでの駅前通りについては、多くの利用者が利用するメイン通りとなっています。そのため、自治会や実行委員会等の団体の方に花のコミュニティ補助金を活用していただき、駅前通りを、年間を通して花の見える通りとして整備を行っていただいております。
4	専門家の力を活用し、まちづくり全体をプロデュースしてはどうか。	16	D	市のまちづくりに関しては、市の最上位計画である総合振興計画で将来都市像や土地利用構想等も決定しているところです。市の計画は多岐にわたるため計画策定の際には、各分野の有識者や公募委員を選出して計画決定を行っております。
5	花をメインアイコンとして、観光の切り口だけではなく、多様な側面から実質を高め、イメージの向上を図ってほしい。	16	B	花の生産地である現場を知っていただく企画として、第8回このす花まつりでは花生産農家施設見学会や花市場見学会を開催しました。花に対する知識や、花生産農家から出荷までの流れを知っていただく企画で、参加者からはおおむね好評でした。今後も「花のまちこのす」のイメージ向上を図るため、多様な事業に取り組んでまいります。

6	石田堤や勝願寺等の立派な資源の知名度が低く、来訪者の目に留まらないといった現状の中で、市内の寺社が結ぶ「このす七福神」を作れば、来訪者が増加するのではないかと。	17	C	基本戦略1-戦略その2-対策②「文化財と伝統芸能の活用」において鴻巣の文化財の活用について取り組んでいきます。観光として成り立つためには「意味の付与」と「意味の消費」が不可欠です。「このす七福神」のご提案については、大変貴重な意見として実施段階の参考とさせていただきます。
---	--	----	---	--

基本戦略2 鴻巣市ブランドの確立と発信

NO	意見の要旨	該当頁	反映状況	市の考え方
7	「川幅日本一」をもっと視覚的に観光客に訴えられるようにしてほしい。それに関連し、「川幅日本一」のポイント周辺に、公衆トイレや荒川の歴史がわかるような施設があれば良い観光スポットになるのではないかと。	19	D	鴻巣市と吉見町の間を流れる荒川の川幅は2,537mありますが、普段の川幅は30m程度であることから、普段視覚的に訴え実感していただくことが難しいと考えます。川幅日本一の広大な河川敷を活用してイベントを行うことにより川幅の広さを実感していただくことを考えています。なお、今後、川幅日本一地点では、スーパー堤防整備の一環として公園整備を行う予定となっております。

基本戦略3 観光拠点施設の活用

NO	意見の要旨	該当頁	反映状況	市の考え方
8	平成28年度に完成した鴻巣御殿模型が市役所にあるが、夜や土日祝日に見ることができないため、かつて鴻巣御殿が存在した中山道沿いの施設や空き店舗等を活用して展示を行い、いつでも見ることができるようにしてほしい。	22	C	鴻巣御殿の模型についても鴻巣の歴史を知り、どんな時代の中に位置していたかなど、江戸図屏風が物語る鴻巣の魅力の一つと考えています。また、市民の皆さんに対して鴻巣御殿の存在が、鴻巣の発展の礎であるという認識していただき郷土愛の醸成を育んでいただくものと考えております。しかしながら、現時点では、空き店舗等を活用して中山道沿いの施設に移設することは難しいと考えております。土日祝日も展示できることが好ましいため、移設について検討することがあった際には参考とさせていただきます。
9	歴史的な文化財が市内に点在しているため、市役所の旧第二庁舎を博物館（資料館）として活用し、集約して展示を行うことで来訪者が増加するのではないかと。	22	D	旧第二庁舎については、耐震改修が行われていないため、資料館として活用していくことが難しいと考えます。
10	観光協会（産業観光館ひなの里）が鴻巣駅から離れた場所にあり、観光案内所としての機能を果たせていないため、鴻巣駅周辺に設置することはできないかと。	24	D	駅の観光案内所開設については難しい面がありますが、鴻巣市観光協会では、観光客の皆様が市内を散策いただく際の、道案内や食事場所など、まちの情報を案内する「まちかど観光案内所」を市内9店舗で開設しています。

基本戦略4 広域観光交流の推進

NO	意見の要旨	該当頁	反映状況	市の考え方
11	県央に位置する鴻巣の強みが計画に活かされていないため、近隣市町と連携し、中山道や古墳・埴輪、花等の観光資源を活用できるような仕組みを作ってほしい。	26	B	近隣市町との連携については、基本戦略4-戦略その2-対策①「広域観光の模索」において花のイベントを活用した広域観光について取り組んでまいります。広域観光を検討する上では中山道や古墳・埴輪、花等の観光資源を活用できるような仕組みを検討してまいります。

基本戦略5 観光情報の発信

NO	意見の要旨	該当頁	反映状況	市の考え方
	なし			

※同様の意見を集約することにより、提出意見数と一致しない場合があります

決定された計画等
第2次鴻巣市観光戦略計画